

A B C協会が主査を務めた「ユーザーのための要件定義ガイド」がI P A / S E Cより公開

(独) 情報処理推進機構・ソフトウェア高信頼化センター (I P A / S E C) が、1月31日に、システム開発時の課題である「上流工程の作業不備に起因した手戻り」の解決を支援するガイドブック「ユーザのための要件定義ガイド」と「システム再構築を成功に導くユーザガイド」の2冊を公開しました。

I P A / S E Cでは、昨年3月に、「システム開発上流工程強化部会」を発足させ、その配下に、「システム化要求ワーキング・グループ」と「モダナイゼーションワーキング・グループ」の2つのワーキンググループ (W G) を設置しました。システム開発上流工程強化部会の委員として、A B C協会副会長・細川泰秀、専務理事・岩佐洋司が参画し、システム化要求W Gの主査は、岩佐専務理事が務めてまいりました。

このシステム化要求ワーキング・グループの成果として、「ユーザのための要件定義ガイド」が公開されました。

「ユーザのための要件定義ガイド ～要求を明確にするための勘どころ～」は、ユーザ企業の業務担当者が要件定義を作るコツをやさしく披露していますが、ユーザ企業の経営者、情報システム部門のS E、ベンダー企業のS Eにも有効な情報が豊富に載っています。

詳しくは、(独) 情報処理推進機構・ソフトウェア高信頼化センターのホームページをご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20170131.html>